



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 百十四銀行  
 コード番号 8386 URL <http://www.114bank.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月5日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 渡邊 智樹  
 (氏名) 豊嶋 正和  
 特定取引勘定設置の有無 無

TEL 087-836-2721

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	22,913	19.3	8,830	534.8	5,456	719.2
25年3月期第1四半期	19,212	△0.5	1,391	△66.4	666	△75.0

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,227百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △6,226百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第1四半期	17.96		17.94	
25年3月期第1四半期	2.20		2.19	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,165,632		251,566	5.6		
25年3月期	4,134,329		251,422	5.7		

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 234,984百万円 25年3月期 234,978百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
25年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		3.50	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期(累計)	40,200	5.6	11,800	147.0	7,000	182.0	23.03
通期	75,200	0.7	16,500	52.0	9,300	58.9	30.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P2「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	310,076,069 株	25年3月期	310,076,069 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	6,206,168 株	25年3月期	6,412,480 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	303,688,981 株	25年3月期1Q	302,845,043 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。  
なお、当第1四半期決算短信の開示時点において、当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表に関する監査法人のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料及び補足説明資料の目次

[添付資料]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 2
3. 四半期連結財務諸表	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書【第1四半期連結累計期間】	P. 5
(3) 継続企業的前提に関する注記	P. 7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7

[補足説明資料]

平成26年3月期第1四半期決算 補足説明資料

1. 平成26年3月期第1四半期累計期間の損益状況（単体）	P. 8
2. 預金等・預り資産の状況（単体）	P. 9
3. 貸出金の状況（単体）	P. 9
4. 金融再生法開示債権の状況（単体）	P. 10
5. 時価のある有価証券の評価差額（単体）	P. 11
6. 自己資本比率（国内基準）	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における連結経営成績につきましては、経常収益は、金利低下に伴う資金運用収益の減少などがありましたが、国債等債券売却益の増加によるその他業務収益の増加などにより、前第1四半期連結累計期間比37億1百万円増加して229億13百万円となりました。

また経常費用は、その他業務費用などが増加しましたが、貸倒引当金繰入額の減少及び株式等償却が当第1四半期連結累計期間には発生しなかったことによるその他経常費用の減少などにより、前第1四半期連結累計期間比37億38百万円減少して140億82百万円となりました。

この結果、経常利益は、前第1四半期連結累計期間比74億39百万円増加して88億30百万円となり、四半期純利益は、前第1四半期連結累計期間比47億90百万円増加して54億56百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の財政状態につきましては、総資産は、貸出金の増加などにより、前連結会計年度末比313億円増加して2兆1,656億円となりました。また負債は、預金の増加などにより、前連結会計年度末比311億円増加して3兆9,140億円となりました。

なお純資産は、前連結会計年度末比1億円増加して2,515億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期第2四半期（累計）及び平成26年3月期通期の業績予想につきましては、債券売却益の計上に伴う有価証券関係損益の改善及び与信関係費用の減少が見込まれるため、下記のとおり修正いたします。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しております。

平成26年3月期第2四半期（累計）連結業績予想 (単位：百万円)

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	36,200	6,100	3,300
今回修正予想 (B)	40,200	11,800	7,000
増減額 (B-A)	4,000	5,700	3,700
増減率 (%)	11.0	93.4	112.1

平成26年3月期通期連結業績予想 (単位：百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	72,100	11,000	5,800
今回修正予想 (B)	75,200	16,500	9,300
増減額 (B-A)	3,100	5,500	3,500
増減率 (%)	4.3	50.0	60.3

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の処理)

当行及び連結子会社の税金費用は、当第1四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	136,427	245,364
コールローン及び買入手形	6,301	6,211
買入金銭債権	33,867	35,000
商品有価証券	49	140
金銭の信託	4,901	4,918
有価証券	1,318,404	1,226,102
貸出金	2,528,403	2,535,617
外国為替	7,382	8,637
リース債権及びリース投資資産	17,010	16,609
その他資産	40,498	43,937
有形固定資産	44,910	44,989
無形固定資産	4,996	4,958
繰延税金資産	1,629	2,143
支払承諾見返	15,882	17,392
貸倒引当金	△26,335	△26,390
<b>資産の部合計</b>	<b>4,134,329</b>	<b>4,165,632</b>
<b>負債の部</b>		
預金	3,420,759	3,496,479
譲渡性預金	231,706	176,011
コールマネー及び売渡手形	51,915	51,858
借入金	73,654	83,535
外国為替	579	1,517
社債	10,000	10,000
その他負債	68,436	69,338
役員賞与引当金	19	—
退職給付引当金	504	488
役員退職慰労引当金	55	32
睡眠預金払戻損失引当金	481	464
偶発損失引当金	135	106
繰延税金負債	1,947	12
再評価に係る繰延税金負債	6,828	6,828
支払承諾	15,882	17,392
<b>負債の部合計</b>	<b>3,882,906</b>	<b>3,914,066</b>

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
資本金	37,322	37,322
資本剰余金	24,920	24,920
利益剰余金	129,575	133,967
自己株式	△2,935	△2,859
株主資本合計	188,882	193,350
その他有価証券評価差額金	38,173	33,474
繰延ヘッジ損益	△136	98
土地再評価差額金	8,057	8,060
その他の包括利益累計額合計	46,095	41,633
新株予約権	120	130
少数株主持分	16,324	16,451
純資産の部合計	251,422	251,566
負債及び純資産の部合計	4,134,329	4,165,632

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
経常収益	19,212	22,913
資金運用収益	13,394	12,691
(うち貸出金利息)	9,079	8,643
(うち有価証券利息配当金)	4,200	3,962
信託報酬	0	—
役務取引等収益	2,439	2,784
その他業務収益	842	4,461
その他経常収益	2,535	2,975
経常費用	17,820	14,082
資金調達費用	837	808
(うち預金利息)	525	466
役務取引等費用	612	642
その他業務費用	20	850
営業経費	10,174	10,042
その他経常費用	6,176	1,739
経常利益	1,391	8,830
特別利益	5	5
固定資産処分益	5	5
特別損失	32	10
固定資産処分損	30	10
減損損失	2	0
税金等調整前四半期純利益	1,364	8,825
法人税等	429	3,103
少数株主損益調整前四半期純利益	935	5,722
少数株主利益	268	265
四半期純利益	666	5,456

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	935	5,722
その他の包括利益	△7,161	△4,494
その他有価証券評価差額金	△7,175	△4,728
繰延ヘッジ損益	14	234
四半期包括利益	△6,226	1,227
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,468	991
少数株主に係る四半期包括利益	242	236



- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

平成26年3月期第1四半期決算 補足説明資料

1. 平成26年3月期第1四半期累計期間の損益状況（単体）

当第1四半期累計期間の経常収益は、その他業務収益の増加などにより、前第1四半期累計期間比39億10百万円増加して208億93百万円となりました。

また、コア業務純益は、経費の減少などにより、前第1四半期累計期間比1億3百万円増加して、45億40百万円となりました。

経常利益は、与信関係費用の減少及び有価証券関係損益の改善などにより、前第1四半期累計期間比75億66百万円増加して、83億76百万円となり、四半期純利益は、48億95百万円増加して、54億47百万円となりました。

（単位：百万円）

	前第1四半期 累計期間（A） （平成24年4月1日～ 平成24年6月30日）	当第1四半期 累計期間（B） （平成25年4月1日～ 平成25年6月30日）	前第1四半期 累計期間比 増減額 （B）－（A）	前第1四半期 累計期間比 増減率 （%）	平成26年3月期 中間期予想
<b>経常収益</b>	<b>16,983</b>	<b>20,893</b>	<b>3,910</b>	<b>23.0%</b>	<b>35,900</b>
コア業務粗利益 ①	13,950	13,904	△ 46	△ 0.3%	
資金利益	12,458	11,858	△ 600	△ 4.8%	
役務取引等利益	1,353	1,658	305	22.5%	
その他業務利益（除く債券関係損益）	138	387	249	180.4%	
経費 ②	9,513	9,363	△ 150	△ 1.6%	
<b>コア業務純益 ①－②</b>	<b>4,437</b>	<b>4,540</b>	<b>103</b>	<b>2.3%</b>	<b>7,700</b>
債券関係損益 ③	684	3,224	2,540	371.3%	
実質業務純益 ①－②＋③	5,121	7,764	2,643	51.6%	
一般貸倒引当金繰入額 ④	△ 248	99	347	—	
業務純益 ①－②＋③－④	5,369	7,665	2,296	42.8%	
臨時損益	△ 4,558	712	5,270	—	
うち不良債権処理費用 ⑤	2,972	191	△ 2,781	△ 93.6%	
うち償却債権取立益 ⑥	394	669	275	69.8%	
うち株式等関係損益 ⑦	△ 2,019	151	2,170	—	
<b>経常利益</b>	<b>810</b>	<b>8,376</b>	<b>7,566</b>	<b>934.1%</b>	<b>10,900</b>
特別損益	△ 31	△ 8	23	—	
法人税等	227	2,920	2,693	—	
<b>四半期純利益</b>	<b>552</b>	<b>5,447</b>	<b>4,895</b>	<b>886.8%</b>	<b>6,900</b>
有価証券関係損益 ③＋⑦	△ 1,335	3,375	4,710	—	
与信関係費用 ④＋⑤－⑥	2,329	△ 378	△ 2,707	—	

2. 預金等・預り資産の状況（単体）

当第1四半期末の預金等残高は、法人預金、個人預金及び公共預金がいずれも増加し、平成24年6月末比1,295億円増加して、3兆6,807億円となりました。

また、当第1四半期末の預り資産残高は、公共債が減少しましたが、投資信託及び個人年金保険の増加により、平成24年6月末比119億円増加して、3,773億円となりました。

	（単位：億円）			【参考】	（単位：億円）
	平成25年 6月末	平成24年 6月末比	平成25年 3月末比	平成24年6月末	平成25年3月末
預金等（注）	36,807	1,295	191	35,512	36,615
個人	22,525	383	343	22,141	22,181
法人	12,362	901	△525	11,460	12,888
公共	1,920	10	373	1,910	1,546

（注）預金等とは、預金及び譲渡性預金であります。

	（単位：億円）			【参考】	（単位：億円）
	平成25年 6月末	平成24年 6月末比	平成25年 3月末比	平成24年6月末	平成25年3月末
預り資産	3,773	119	△9	3,654	3,782
公共債	1,227	△228	△63	1,456	1,291
投資信託	1,006	89	△21	916	1,027
個人年金保険	1,540	258	76	1,281	1,463

3. 貸出金の状況（単体）

当第1四半期末の貸出金残高は、個人向け、法人向け及び公共向け貸出金がいずれも増加し、平成24年6月末比1,299億円増加して、2兆5,430億円となりました。また、当第1四半期末の中小企業等貸出金残高は、平成24年6月末比454億円増加して、1兆6,294億円となりました。

	（単位：億円）			【参考】	（単位：億円）
	平成25年 6月末	平成24年 6月末比	平成25年 3月末比	平成24年6月末	平成25年3月末
貸出金	25,430	1,299	63	24,131	25,366
個人向け貸出金	4,352	169	23	4,183	4,329
うち住宅ローン	4,040	160	22	3,880	4,018
法人向け貸出金（注1）	18,404	575	△190	17,829	18,595
公共向け貸出金	2,673	555	231	2,118	2,442
中小企業等貸出金（注2）	16,294	454	△227	15,839	16,522
中小企業等貸出金比率	64.07%	△1.57%	△1.06%	65.64%	65.13%
信用保証協会保証付貸出金	1,032	△52	△50	1,084	1,083

（注）1. 法人向け貸出金には、個人事業主向け貸出金を含めております。

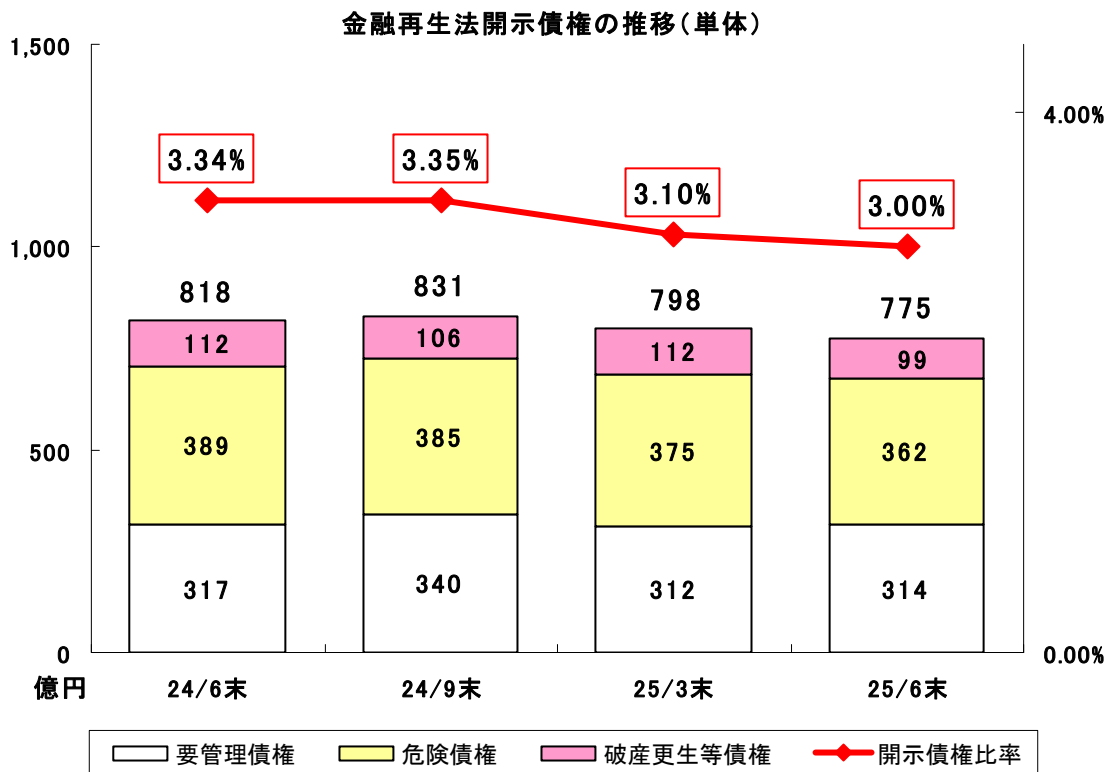
2. 中小企業等貸出金とは、中小企業及び個人向け貸出金であります。

4. 金融再生法開示債権の状況（単体）

不良債権に関しましては、担保・貸倒引当金による適正かつ十分な対応を図るとともに、営業店と本部が一体となり、また外部専門機関とも密接に連携して、お取引先の経営改善・事業再生等に向けた支援を積極的に実施し、不良債権の削減を図っております。

当第1四半期末の金融再生法開示債権は、平成25年3月末比23億円減少して775億円となり、総与信残高に占める開示債権比率は、平成25年3月末比0.10%低下して3.00%となりました。

金融再生法開示債権	（単位：億円）			【参考】	（単位：億円）
	平成25年 6月末	平成24年 6月末比	平成25年 3月末比	平成24年6月末	平成25年3月末
破産更生債権及びこれらに準じる債権	99	△ 13	△ 13	112	112
危険債権	362	△ 27	△ 13	389	375
要管理債権	314	△ 3	2	317	312
開示債権合計	775	△ 43	△ 23	818	798
総与信残高	25,793	1,315	60	24,478	25,733
開示債権比率	3.00%	△0.34%	△0.10%	3.34%	3.10%



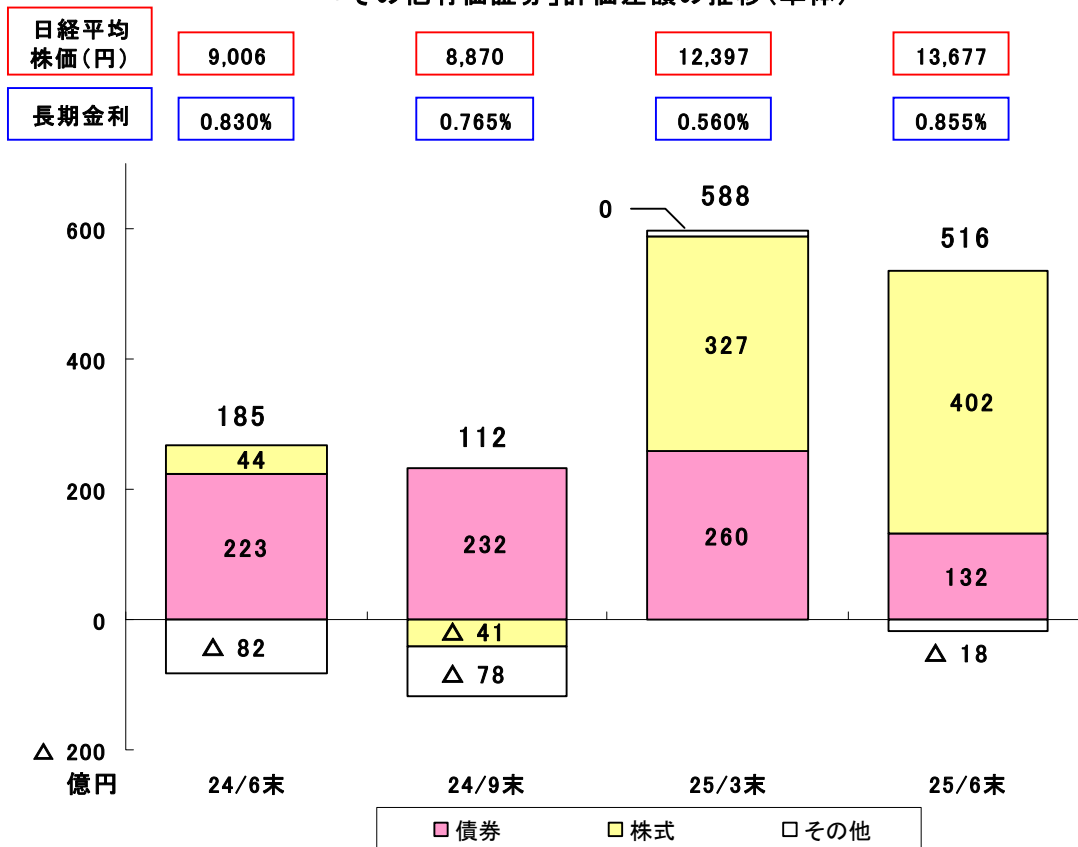
5. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

当第1四半期末の「その他有価証券」の評価差額は、平成25年3月末比72億円減少して、516億円となりました。

	平成25年6月末				【参考】平成24年6月末				平成25年3月末			
	時価	評価差額 ( )内は平成25年3月末比			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	12,226	516 (△72)	583	66	12,194	185	390	204	13,149	588	671	82
株式	1,280	402 (△74)	421	19	969	44	142	97	1,216	327	371	43
債券	9,591	132 (△128)	136	3	10,287	223	225	1	10,769	260	262	2
その他	1,354	△18 (△18)	25	43	936	△82	22	105	1,162	0	37	37

- (注) 1. 「その他有価証券」につきましては、時価評価しておりますので、評価差額は取得価額と時価との差額を計上しております。  
 2. 「満期保有目的の債券」の保有残高はございません。

「その他有価証券」評価差額の推移（単体）



6. 自己資本比率（国内基準）

平成25年6月末基準の連結自己資本比率（国内基準）は、平成25年3月末比0.23%上昇して11.86%となりました。

（1）連結自己資本比率（国内基準）

	（単位：億円）			【参考】	（単位：億円）
	平成25年 6月末	平成24年 6月末比	平成25年 3月末比	平成24年6月末	平成25年3月末
自己資本比率	11.86%	0.09%	0.23%	11.77%	11.63%
基本的項目比率 (Tier 1 比率)	9.79%	0.18%	0.23%	9.61%	9.56%
自己資本の額	2,541	90	58	2,451	2,483
基本的項目の額 (Tier 1)	2,097	95	57	2,002	2,040
リスク・アセット等 (注2)	21,425	603	81	20,821	21,343
総所要自己資本額 (注3)	857	24	3	832	853

（2）単体自己資本比率（国内基準）

	（単位：億円）			【参考】	（単位：億円）
	平成25年 6月末	平成24年 6月末比	平成25年 3月末比	平成24年6月末	平成25年3月末
自己資本比率	11.47%	0.06%	0.23%	11.41%	11.24%
基本的項目比率 (Tier 1 比率)	9.39%	0.15%	0.23%	9.24%	9.16%
自己資本の額	2,435	81	56	2,354	2,379
基本的項目の額 (Tier 1)	1,993	86	55	1,907	1,938
リスク・アセット等 (注2)	21,228	599	78	20,629	21,150
総所要自己資本額 (注3)	849	23	3	825	846

- （注）1. 上記の自己資本比率は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づいて算出しております。
2. リスク・アセット等のうち、信用リスクについては標準的手法、オペレーショナル・リスクについては粗利益配分手法により算出しております。
3. 総所要自己資本額は、リスク・アセット等に4%を乗じた額であります。